

# パネルック施工要領

日藻工材株式会社  
東京都板橋区坂下 2-13-18  
TEL 03(5392)1007 FAX 03(5392)1023

# パネルック施工要領 【壁用】

## 1. 適用範囲

この施工要領は、構造用合板・ケイ酸カルシウム板・石膏ボード(防水)に対して(以後、下地と表記します。)タイルの張付けをする際の施工方法に適用します。

## 2. 材料の保管

材料の保存期間 : 密封状態で製品受取後1年以内とし、開封後は直ちに使用して下さい。

材料の保管場所 : 屋内に保管して下さい。但し、コンクリート面に直に置く事は、避けて下さい。又、水濡れは厳禁です。

## 3. 作業条件

- 使用する水は、すべて水道水として下さい。
- 施工時にはチリ・ホコリ等の注意をし、部屋の戸は必ず閉めて作業して下さい。直射日光もシート等で防ぐ対策を講じて下さい。
- 塗付け後、早期に乾燥する恐れのある場合は、シート掛け等による乾燥防止策を講じて下さい。
- 冬期は、夜間の気温低下により凍害を受ける恐れがありますので、十分な養生をして対策を講じて下さい。
- タイルは200角までとして下さい。

## 4. 作業手順

### 密着張り工法 工程図



### (1) 下地の点検

- a. 下地の取付けの不備・たわみの確認をして下さい。  
間柱は30cm間隔に取り、ビス止めとして下さい。下地は厚さ12mm以上のものを使用して下さい。
- b. 段差及び継目の確認をして下さい。  
段差のある場合や継目にすき間のある場合は、下地の作り直しをするか、パテを使用して平滑に仕上げして下さい。

## (2) 下地の清掃

下地表面のゴミ・ホコリ・切削時の粉塵等を、ブロアーやブラシを使用し取除いて下さい。  
触った時に手についてこない程度まで取り除いて下さい。

## (3) 墨出し

下地へのタイルの割り付けは、下地1枚の中へタイルを割り込む方法を原則としていますが、やむをえず下地の目地をまたいでタイル割り付けを行う場合は、下地2～3枚以内を一本化し、その中でタイルを割り付ける方法として下さい。

## (4) プライマー塗布

日藻プライマーを左官刷毛又はローラーで塗布し、乾燥させます。気温20℃時1時間～1時間30分を目安として下さい。

## (5) パネルックの塗付け

パネルック5kg・水1～1.2ℓで練ったものを下地の上にシゴキ塗り後、3mm厚に平滑に塗付け、クシ目を引いて下さい。

※一度に塗付ける面積は、5分以内にタイルを張り終える程度として下さい。

## (6) タイルの張付け

- a. クシ目引き後、速やかにタイルを左右にモミ込み、押圧して張って下さい。
- b. モルタルを指で触って確認しながら作業して下さい。
- c. セメント系タイル張付け材ですので、有機系接着剤張り工法のように1回の面積を広く取ったり、タイルを押すだけの張り方はしないで下さい。(モミ込みと押圧は必須条件です。)
- d. 時々、一定間隔でタイルを剥がしてパネルックの付着を確認して下さい。
- e. タイル張りを終了した後、目地の通りを確認し、目地部の盛り上がったモルタルを木の棒・ササラ等を用いて除去しておいて下さい。

## (7) タイル目地埋め

- a. 事前点検  
目地の通り、タイルの凹凸、色合いを点検し、異常のない事を確認して下さい。
- b. 目地モルタル  
設計図書もしくは監督者の指示に従い、市販の目地セメントを使用して下さい。
- c. 目地埋め  
タイル張付け後、3時間以上経過した後、タイルが動かなくなった事を確認してから実施して下さい。
- d. 清掃  
目地埋め後速やかに水で濡らしたスポンジ等で、入念に目地セメントの付着物を拭き取ります。

# パネルック施工要領 【床用】

## 1. 適用範囲

この施工要領は、床下地に対してタイルの張付けをする際の施工方法に適用します。

## 2. 材料の保管

材料の保存期間：密封状態で製品受取後1年以内とし、開封後は直ちに使用して下さい。

材料の保管場所：屋内に保管して下さい。但し、コンクリート面に直に置く事は、避けて下さい。又、水濡れは厳禁です。

## 3. 作業条件

- 使用する水は、すべて水道水として下さい。
- 施工時にはチリ・ホコリ等の注意をし、部屋の戸は必ず閉めて作業して下さい。直射日光もシート等で防ぐ対策を講じて下さい。
- 塗付け後、早期に乾燥する恐れのある場合は、シート掛け等による乾燥防止策を講じて下さい。
- 冬期は、夜間の気温低下により凍害を受ける恐れがありますので、十分な養生をして対策を講じて下さい。
- タイルは600角までとして下さい。

## 4. 作業手順

### 改良圧着工法 工程図



#### (1)下地の点検

- 下地の取付けの不備・たわみの確認をして下さい。  
根太は30cm間隔に取り、ビス止めとして下さい。下地は厚さ12mm以上のものを使用して下さい。
- 段差及び継目の確認をして下さい。  
段差のある場合や継ぎ目にすき間のある場合は、下地の作り直しをするか、パテを使用して平滑に仕上げして下さい。

## (2) 下地の清掃

下地表面のゴミ・ホコリ・切削時の粉塵等を、ブロアーやブラシを使用し取除いて下さい。  
触った時に手についてこない程度まで取り除いて下さい。

## (3) 墨出し

下地へのタイルの割り付けは、下地1枚の中へタイルを割り込む方法を原則としていますが、やむをえず下地の目地をまたいでタイル割り付けを行う場合は、下地2～3枚以内を一本化し、その中でタイルを割り付ける方法として下さい。

## (4) プライマー塗布

日藻プライマーを左官刷毛又はローラーで塗布し、乾燥させます。気温20℃時1時間～1時間30分を目安として下さい。

## (5) パネルックの塗付け

パネルック5kg・水1～1.1ℓで練ったものを下地の上にシゴキ塗り後、3mm厚に平滑に塗付け、クシ目を引いて下さい。

※一度に塗付ける面積は、5分以内にタイルを張り終える程度として下さい。大型タイルや石材(200角以上)は裏面清掃後、パネルックのシゴキ塗りをして平滑にして下さい。

## (6) タイルの張付け(改良圧着)

- a. クシ目引き後、速やかにタイルを左右にモミ込み、押圧して張って下さい。
- b. モルタルを指で触って確認しながら作業して下さい。
- c. セメント系タイル張付け材ですので、有機系接着剤張り工法のように1回の面積を広く取ったり、タイルを押すだけの張り方はしないで下さい。(モミ込みと押圧は必須条件です。) 大型タイル・石材は1枚ずつ張って行って下さい。
- d. 時々一定間隔でタイルを剥がしてパネルックの付着を確認して下さい。
- e. タイル張りを終了した後、目地の通りを確認し、目地部の盛り上がったモルタルを木の棒・ササラ等を用いて除去しておいて下さい。

## (7) タイル目地埋め

- a. 事前点検  
目地の通り、タイルの凹凸、色合いを点検し、異常のない事を確認して下さい。
- b. 目地モルタル  
設計図書もしくは監督者の指示に従い、市販の目地セメントを使用して下さい。
- c. 目地埋め  
タイル張付け後、3時間以上経過した後、タイルが動かなくなった事を確認してから実施して下さい。
- d. 清掃  
目地埋め後、速やかに水で濡らしたスポンジ等で、入念に目地セメントの付着物を拭き取ります。